



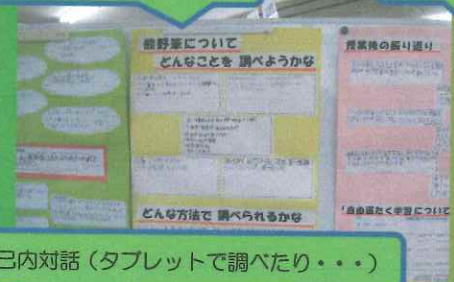
校長だより (職員編)

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

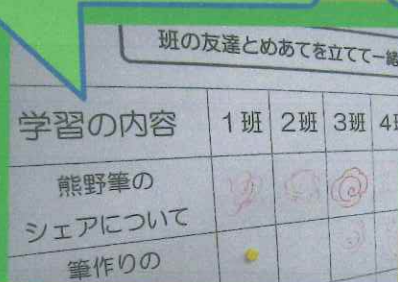
教えることをがまんする！

本日、校内授業研究(全体会)を実施しました。この度は、江木崇弘教諭による第4学年社会「産業を守る熊野町の暮らし」の授業研究でした。子供から引き出した問いを整理して、そのことにグループや学級全体でのかかわりを取り入れながらその解決に取り組もうとするものでした。最大の特徴は、①「自由選択学習」を取り入れたこと。②教師が教えれば済むことも極力教えず、自力解決や集団解決をさせようとしたこと。従来の教授法と比べれば賛否両論でしょうが、個々の子供が課題解決に向かう様子は明らかに前向きでしたし、本中学校区が目指す「授業における居場所づくり」を実現しようとしたものでした。

子供から引き出した課題



子供から引き出した課題を整理する



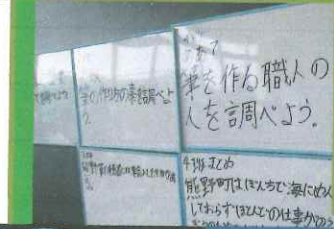
子供たちの取組状況を把握しつつ、教えることをがまんしながら、取組意欲を高める声掛けをする



自己内対話(タブレットで調べたり・・・)



他者との対話(個の取組を出し合いながら・・・)



竹野英敏教授(広島工業大学)による指導講話

研究協議会の様子



成果との課題をタブレットで整理したり・・・



「教えることをどのようにがまんすれば、子どもたちに主体的に学ぶ力がつくのか追究した授業でしたね！」